

円錐角膜の診断・治療のため、当院に通院された患者さんの診療録情報を用いた
医学系研究に対するご協力のお願い

円錐角膜の診断・治療のため、当院に通院された患者さんの診療録情報を用いた医
学系研究に対するご協力のお願い

南青山アイクリニック
理事長 戸田 郁子
研究責任者 加藤 直子

このたび当院では、上記のご病気で通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、倫理委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2020年7月1日より2022年7月31日までの間に、南青山アイクリニックにて、円錐角膜の診断を受け、角膜クロスリンキング手術を予約し、鼻腔での細菌培養検査を受けられた方。

2 研究課題名

角膜クロスリンキング術前検査としての細菌培養検査結果の検討

3 研究実施機関

南青山アイクリニック

4 本研究の意義、目的、方法

・目的

角膜クロスリンキング (CXL) は、円錐角膜の進行を止めるための有効な治療法です。南青山アイクリニックでは2007年から現在まで、円錐角膜症例に対してCXLを行なっています。しかし、稀にですが、CXL手術の後に角膜感染症（角膜に細菌などの微生物がついて繁殖する合併症）が起きることがあるために、現在では術前にあらかじめ患者様の鼻腔から細菌培養検査を行うことにより、その方がどのような種類の細菌を常在菌として保有しているかを調べ、術後の感染予防対策に役立てています。

今回の研究では、これまでに検査した細菌培養の結果を振り返り、術後感染の予防と治療のために

最適な対策等を見出すことを目的としています。

・方法

これまでにCXL術前に鼻腔の細菌培養検査を行なった方の検査結果を検討します。

5 協力をお願いする内容

円錐角膜の診療に関する診療記録、鼻腔の細菌培養検査結果の閲覧

6 本研究の実施期間

西暦 2022 年 10 月 25 日～2023 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療記録や診断用画像の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

加藤 直子

107-0061 東京都港区北青山 3-3-11 ルネ青山ビル 4階

南青山アイクリニック

電話：03-5772-1451（9時30分～18時、火曜日・祝日月曜定休）